○温室効果ガス排出削減報告書一覧（静岡県地球温暖化防止条例施行規則第3条第1号に該当する事業者）(H29-R1)

事業所名	温室効果ガス排出量									原単位排出量				基本対策				特色取組				県事業参画			その他の温暖化対策			自己評価点数分布
	実施年度	目標設定	基準年度	基準値(t-CO2)	目標年度	目標値(t-CO2)	基準年度比(目標)	実績(t-CO2)	基準年度比(実績)	目標設定	基準年度比(目標)	基準年度比(実績)	年度	区分	メニュー	温室効果ガスの排出の抑制を図るために実施した措置	年度	区分	メニュー	温室効果ガスの排出の抑制を図るために実施した措置	年度	事業	参画した内容	削減合計	調整後の温	基準年度比	
内外化成株式会社 小笠工場	31		28	3,406	31	3,850	113.0%	2,980	87.5%	★	95.4%	104.9%	29	運用対策	推進体制の整備	朝礼等で定期的な省エネの呼び掛け実施と、エネルギー管理指定工場についての説明会を実施した。	29-30	地域や社員の家庭への普及啓発		温暖化防止に関する社員教育の中で、社員の家庭での省エネルギーとなる行動を呼びかけ、行動につなげること。	29-31	ふじのくにエコチャレンジ	「クルポ」アプリの紹介				41～60
													29	運用対策	エネルギーデータ管理	専用ソフトを用い消費電力量を毎月集計している。消費電力の動向を分析し、定期的に会議等で連絡を行っている。	29-30	エネルギー起源以外の削減取組		必要資源の調整・ペーパーレス化等により、廃棄量の削減を図ること。		書類等のデータ化推進（PDF化等）。					
													29-30	運用対策	保守及び点検	熱源部、フィルター清掃等の定期的な実施に加え、照明器具の清掃を実施した。	29-31	エネルギー起源以外の削減取組		業務用冷凍空調機器の定期的な点検等、適切に冷媒漏えい防止措置を図ること。			業者による法定点検の実施（冷媒の漏洩点検等）。					
													30	運用対策	抵抗等電気損失防止	特に夏季期間の平準化を図れる様生産調整の話し合いを実施。											
													30-31	運用対策	変換合理化_ア電動力応用・電気加熱等	不要な動力を使用しないよう呼びかけを実施（コンベヤの空転等）。部分的な自動停止が行えないかも合わせて検討している。											
													30-31	運用対策	変換合理化_イ照明・事務機器	不要時の消灯の徹底を行うと共に、適正使用の呼びかけ（減光）を行った。											
													29-31	設備導入	電気使用設備	R元年度は特に電動機の置き換えが進んだ実績はない。											
													29-31	設備導入	照明設備	工場全体の照明LED化を計画し、費用のまとめを実施（R2年度内での全照明LED化が承認された）。											
													29-31	設備導入	熱利用設備	劣化した加熱部断熱材交換を一部で実施。											
株式会社長倉製作所 本社・原工場	31		28	8,848	31	8,405	95.0%	10,000	113.0%	★	95.7%	97.7%	29-31	設備導入	電気使用設備	設備ごとに、どのようなデータが計測・収集可能か検証する。	29-31	排出低減技術等の開発・普及		温室効果ガスの排出を低減する技術の開発やその製品化を行うこと。			金型の形状改善などにより、プレス工程の短縮化と金型の寿命の改善を図る。				21～40
													29-31	設備導入	電気使用設備	工場内の変電所で変圧器を低損失型に順次交換する。特に25年以上の設備を更新する。 総台数25基中の6基を対象とする。	29-31	地域や社員の家庭への普及啓発		地域での清掃活動を実施すること。			毎年夏に開催している社内の夏祭りの際に、会社の近隣の美化活動を実施する。					
													29-31	設備導入	照明設備	工場建屋の水銀灯照明および事務所内の蛍光灯照明器具のLED照明化を順次進める。	29-31	排出低減技術等の開発・普及		温室効果ガスの排出を低減する技術・製品の普及を行うこと。			多段化ATIに搭載される部品の開発を進める。					
													29-31	運用対策	伝熱合理化_ア加熱設備等	熱利用設備の保温効果(ジャケット等)を高め 放熱によるエネルギーロスを削減する。											
													29-31	運用対策	燃焼合理化	連続焼鈍炉の条件変更(サイクルタイム改善によりLNG使用量の削減を図る)											
													29-31	運用対策	変換合理化_イ照明・事務機器	照明器具のLEDへの切り替えの際に、照度の適正化を考慮した照明の配置を検討する。											
													29-31	運用対策	変換合理化_イ照明・事務機器	パソコンの省電力設定を活用する。											
													29-31	設備導入	電気使用設備	自動販売機を、夜間のみに冷却を行うタイプのものに順次切り替えを行う。											
南部化成株式会社 大井川事業所	31		28	4,281	31	4,246	99.2%	3,416	79.8%	★	97.0%	95.4%	29	運用対策	運転管理	生産管理による立上時のヒートアップ時間の短縮											41～60
													29-31	運用対策	運転管理	管理標準作成による空運転の防止											
													29-31	設備導入	電気使用設備	モーター交換時高効率モーターを使用した											
南部化成株式会社 裾野事業所	31		28	4,525	31	4,480	99.0%	4,627	102.3%	★	97.1%	100.3%	29-31	運用対策	運転管理	旧式設備の稼動停止（スタンピングモールド）											0～20
													29-31	運用対策	運転管理	蒸着工程の生産性改善											
													30-31	設備導入	電気使用設備	老朽設備（蒸着・塗装）の計画更新											
南部化成株式会社 吉田事業所	31		28	3,065	31	3,069	100.1%	2,856	93.2%	★	97.0%	93.9%	29	運用対策	運転管理	工場内のエアコン温度管理											41～60
													29-31	運用対策	運転管理	工場内のエアコン温度管理											
西日本電信電話株式会社 電電ビル	31		28	5,049	31	4,892	96.9%	4,120	81.6%	★	96.9%	81.6%	29-31	運用対策	保守及び点検	空調装置において、シーズン前の室外機洗浄および室内機フィルタ交換による夏季の使用電力の抑制を行った。	29-31	エネルギー起源以外の削減取組		必要資源の調整・ペーパーレス化等により、廃棄量の削減を図ること。			CD－ROMの使用により、ペーパーレス化を図る。				61～80
													29-31	運用対策	伝熱合理化_イ空調・給湯	給湯設備の供給箇所の限定を行った。	29-31	地域や社員の家庭への普及啓発		地域での清掃活動を実施すること。			駿府城公園での清掃活動の実施。					
													29-31	設備導入	空気調和設備	通信設備の減少に伴う空調の停止（2件）、撤去（5件）、高効率空調への更改（5件）を行った。	29-31	地域や社員の家庭への普及啓発		地域での清掃活動を実施すること。			安倍川流木クリーンまつりに参加し、清掃活動を実施。					
																-	29-31	地域や社員の家庭への普及啓発		社員の家庭を対象とし、行政・民間団体等が主催する環境イベントへの参加を呼びかけ、参加につなげること。			環境省「CO2削減／ライトダウンキャンペーン」への参加（夏至・七夕の日）、及び独自施策として既設の節目を感じさせる行事日にイベントライトダウンを実施。					
西日本電信電話株式会社 向宿ビル	31		28	3,055	31	2,954	96.7%	2,434	79.7%	★	96.7%	79.7%	29-31	運用対策	保守及び点検	空調装置において、シーズン前の室外機洗浄および室内機フィルタ交換による夏季の使用電力の抑制を行った。	29-31	エネルギー起源以外の削減取組		必要資源の調整・ペーパーレス化等により、廃棄量の削減を図ること。			CD－ROMの使用により、ペーパーレス化を図る。				41～60
													29-31	設備導入	空気調和設備	通信設備の減少に伴う空調の停止（5件）、撤去（3件）を行った。	29-31	地域や社員の家庭への普及啓発		地域での清掃活動を実施すること。			浜名湖の清掃活動の実施。					
																-	29-31	地域や社員の家庭への普及啓発		社員の家庭を対象とし、行政・民間団体等が主催する環境イベントへの参加を呼びかけ、参加につなげること。			環境省「CO2削減／ライトダウンキャンペーン」への参加（夏至・七夕の日）、及び独自施策として既設の節目を感じさせる行事日にイベントライトダウンを実施。					
ニチアス株式会社 袋井工場	31		28	32,910	31	31,923	97.0%	32,132	97.6%	★	97.0%	89.6%	29-31	運用対策	保守及び点検	定期的に、ボイラーの水質管理、伝熱面等に付着したばいじん及びスケール等の除去、フィルターのきれいの除去、蒸気機器及び熱交換器のスケールの除去、蒸気その他の熱媒体の漏えい部分の補修等、設備の保守及び点検を行い、良好な状態を維持した。 照明器具はLED化を実施した。	29-31	エネルギー起源以外の削減取組		使用済封筒・裏紙の積極的な活用など、資源の再活用により廃棄量の削減を図ること。			使用済封筒・裏紙を積極的に活用した。				61～80
													29-31	運用対策	伝熱合理化_イ空調・給湯	・冷暖房の設定温度は、政府の推奨する室温になるように設定した。	29-31	エネルギー起源以外の削減取組		業務工程での工夫により、廃棄物の適切な分類を図ること。			壁続して廃棄物の分類ごとに箱を設置している。また説明写真も付けている。					
													29-31	運用対策	変換合理化_イ照明・事務機器	・照明設備は、照度の適正化を図るとともに、適宜調光による減光又は消灯を行うことにより、過剰又は不要な照明をなくした。											
													29-31	運用対策	変換合理化_イ照明・事務機器	・事務用機器は、不要時において適宜電源を切るとともに、低電力モードの設定を行った。											
													29	設備導入	空気調和設備	・効率の高い空調設備等を採用した。											
													29-31	設備導入	照明設備	・水銀灯や蛍光灯のLED化を実施していった。											
ニチハ富士テック株式会社 本社富士工場	31	★	28	4,607	31	4,395	95.4%	4,852	105.3%				29-31	運用対策	燃焼合理化	乾燥炉の排気ファンのインバータ化による破棄熱削減。											0～20
													29-31	運用対策	運転管理	電力ピークカットシフトによる電力負荷平準化。											
株式会社ニチビ 静岡工場	31		28	4,708	31	4,689	99.6%	4,615	98.0%	★	99.0%	97.0%	29	運用対策	推進体制の整備	省エネ推進のあ、委員会を設置、年4回開催し、毎月の報告、改善策等、実施している。	29-31	地域や社員の家庭への普及啓発		地域や民間団体が主催する環境関連事業に協力すること。	29-31	環境マネジメントシステム（エコアクション21、ISO14001等）の普及啓発	藤枝市が主催する、環境関連事業のライトダウンキャンペーン、ノーカーデーへの参加した。				41～60
													29	運用対策	伝熱合理化_ア加熱設備等	熱媒体の温度、圧力及び量を最適に設定する事ができなかった。	29-31	地域や社員の家庭への普及啓発		地域での清掃活動を実施すること。			6月に河川愛護、美化運動として、大井川土手及び河川敷の清掃活動の実施。工場敷地内を流れる窪川の清掃活動の実施。月1回工場周辺のパトロールと清掃を実施。					
													29	設備導入	熱利用設備	炉壁の断熱性向上のあ、断熱材を設置した。	29-31	エネルギー起源以外の削減取組		使用済封筒・裏紙の積極的な活用など、資源の再活用により廃棄量の削減を図ること。			コピー用紙及び配布資料の削減と両面使用実施。					
													29	運用対策	変換合理化_ア電動力応用・電気加熱等	ブロワをインバータ化し、負荷を低減させた。											
													29-30	運用対策	エネルギーデータ管理	年・月で実施、数値、グラフ化等で把握。											
													29-31	設備導入	電気使用設備	電動機更新時に高効率のものを採用した。											
													29-31	設備導入	電気使用設備	蛍光灯を一部、LED蛍光灯に更新した。											
技術開発研究所	31		28	3,126	31	2,970	95.0%	2,160	69.1%	★	95.0%	82.2%	29-31	設備導入	照明設備	男女更衣室、下駄箱、廊下の照明器具44灯のLED更新工事を行った	29-30	二酸化炭素の吸収源対策		事業所周辺において植樹等緑化活動を行い、環境保全を図ること。			研究所内緑地面積25%の維持				61～80
													29-31	設備導入	空気調和設備	ビル用マルチ空調から個別空調へ変更し単体での消費電量56%削減	29-31	地域や社員の家庭への普及啓発		地域での清掃活動を実施すること。			2019.5.17深田川清掃 2019.4.11勝侯公園、ゆうゆうランド清掃					
													29	運用対策	運転管理	温湿度管理の範囲内で季節により運転方法を恒温恒湿運転から暖房運転または冷房運転に切り替える	29-31	エネルギー起源以外の削減取組		業務用冷凍空調機器の定期的な点検等、適切に冷媒漏えい防止措置を図ること。			3か月ごとのフロン簡易点検実施 年に1度の定期点検の実施					

																-	29-31	排出低減技術等の開発・普及	省エネルギーに繋がる新たな環境マネジメントシステム等を構築すること。	2020年1月　ISO14001環境マネジメントシステム（2015年度版）更新							
日研フード株式会社	31		28	9,674	31	9,383	97.0%	10,165	105.1%	★	95.0%	103.8%	29-31	設備導入	余剰蒸気の活用等	自家発電設備の排熱利用を実施。					29	環境マネジメントシステム（エコアクション21、ISO14001等）の普及啓発	2015規格移行(2017年)・運用				0～20
													29-31	設備導入	照明設備	平成30年度に実施											
													29	設備導入	電気使用設備	平成30年度に実施											
日清食品株式会社　静岡工場	31		28	35,627	31	38,689	108.2%	38,113	107.0%	★		106.6%	H29-R1	運用対策	排熱の回収利用	コージェネシステムの効率的運用を確立し、排ガスボイラーを使用した熱回収を実施した。											21～40
													H29-R1	運用対策	変換合理化_イ照明・事務機器	1. 蛍光灯器具をLED照明に変更する。 2. 人感センサー等を用いて、細目に照明を消す。											
													H29-R1	運用対策	推進体制の整備	ISO14001の環境目標の設定											
													H29-R1	運用対策	エネルギーデータ管理	生産時間外に設備(照明・エアコン・生産設備　等)を停止させる。											
													H29-R1	運用対策	運転管理	フロン(R-22)の廃止に伴い、古いエアコンを撤去して新冷媒(R410A等)を使用した高効率エアコンを導入した。											
													H29-R1	運用対策	保守及び点検	蒸気配管・ドレントラップの定期的点検により、蒸気の余熱ロスを防いだ。											
													H29	設備導入	電気使用設備	冷凍機(R22使用)を新規設備(R407C使用)に更新した。											
													H29	設備導入	電気使用設備	井水用工場送水ポンプを新規設備に更新した。											
													H29-R1	設備導入	電気使用設備	コンプレッサーを新規設備に更新した。 H29年度　8台　H30年度　2台　R 1年度　1台											
													H30	設備導入	熱利用設備	製造ラインで高温蒸気・低温蒸気を使用しており、高温蒸気のドレンを利用してフラッシュ蒸気を発生させて、低温蒸気として再利用した。											
													H30-R1	設備導入	熱利用設備	屋上屋根(一部)にアクリルシリコン樹脂断熱塗装を施し、暑熱対策効果を上げた。											
日清紡テキスタイル株式会社　藤枝事業所	31		28	8,254	31	8,006	97.0%	5,273	63.9%	★	97.0%	134.5%	29-31	運用対策	推進体制の整備	ISO14001活動において、CO2排出削減前年度比5%削減を目標にして継続的に活動した。											0～20
													29-31	運用対策	保守及び点検	日常及び定期点検の実施により、ボイラを良好な状態で維持管理できた。											
													29-31	運用対策	変換合理化_イ照明・事務機器	1)エリア毎に照度測定を実施。 2)通路灯を人感センサ付きLED照明器具に更新し、適宜調光及び消灯を実施した。											
													29-31	運用対策	変換合理化_イ照明・事務機器	パソコン等において低電力モードに設定運用実施。											
													30-31	設備導入	照明設備	常時点灯の通路灯（40W蛍光灯）をLED器具に更新中。											
日清紡メカトロニクス株式会社　浜北精機事業所	31		28	11,300	31	14,100	124.8%	10,136	89.7%	★	97.0%	115.5%	29-31	設備導入	照明設備	誘導灯を除く、構内の蛍光灯・水銀灯照明器具のLED化が、2020年1月で完了した。											0～20
													29-31	設備導入	電気使用設備	電動機の更新ができなかった。											
													29-31	設備導入	電気使用設備	新規設備導入により、自動化、省力化を図った。											
													29-31	設備導入	電気使用設備	空気圧縮機設定見直しでアンロード運転時間短縮し省エネを図った。											
													29-30	運用対策	推進体制の整備	環境委員会にて毎月の省エネ・廃棄物削減の結果を報告する。											
													29-31	運用対策	変換合理化_イ照明・事務機器	不要時にパソコンのモニター電源を切る、ノートパソコンを閉じる。 文書の電子化（PDF）を進め、コピー機電力の削減をする。											
株式会社ニッセー　下江留工場	31		28	35,049	31	34,700	99.0%	35,891	102.4%	★	99.0%	87.3%	29-31	運用対策	保守及び点検	同左											41～60
													30-31	設備導入	排熱回収設備	ボイラーブロー水（約80度）を再利用するために、第2工場～第5工場ボイラー設備に排ガス利用式中和装置を設置した。											
													29-31	設備導入	照明設備	工場の照明をLVD（無電極照明）に変更した。											
株式会社ニッセー　第7工場	31		28	8,879	31	8,800	99.1%	9,662	108.8%	★	99.1%	79.2%	29	設備導入	照明設備	工場内照明を無電極ランプに更新した。											41～60
													29-31	運用対策	保守及び点検	同左											
日東工業株式会社　菊川工場	31		28	8,469	31	8,600	101.5%	7,892	93.2%	★	95.1%	62.3%	29	設備導入	照明設備	第二工場天井照明をセラミックメタルハライドランプから高天井用LEDへ126台更新	29	地域や社員の家庭への普及啓発	社員の家庭を対象とし、行政・民間団体等が主催する環境イベントへの参加を呼びかけ、参加につなげること。	環境省主催のライトダウンキャンペーンに参加実施							81～100
													29	設備導入	電気使用設備	設置27年が経過した750KVA.300KVAのトランスをスーパートップランナーⅡモールドトランスへ更新	30	地域や社員の家庭への普及啓発	社員の家庭を対象とし、行政・民間団体等が主催する環境イベントへの参加を呼びかけ、参加につなげること。	環境省主催のライトダウンキャンペーンに参加実施							
													29	設備導入	照明設備	第一工場天井照明をセラミックメタルハライドランプから高天井用LEDへ42台更新	31	地域や社員の家庭への普及啓発	社員の家庭を対象とし、行政・民間団体等が主催する環境イベントへの参加を呼びかけ、参加につなげること。	環境省主催のライトダウンキャンペーンは終了した為、自主消灯実施							
													29-30	設備導入	電気使用設備	設置28年が経過したパート3QBを更新。500KVA、300KVAをアモルファスzeroMCへ更新。設置28年が経過した物流QBを更新。150KVA、200KVAをアモルファスzeroMCへ更新。											
													31	設備導入	照明設備	事務棟廊下のダウンライトを蛍光灯器具からLEDタイプへ更新											
													29	設備導入	電気使用設備	クーリングタワー冷却水ポンプをインバーター化し、適正流量での使用を実施											
													29	運用対策	燃焼合理化	塗装脱臭炉の炉内温度を適正化し省エネを実施											
日東富士製粉株式会社　静岡工場	31		28	5,658	31	5,658	100.0%	5,004	88.4%	★	95.2%	94.4%	29	設備導入	電気使用設備	照明LED化により使用電力削減	29	地域や社員の家庭への普及啓発	地域や民間団体が主催する環境関連事業に協力すること。	環境関連事業の行事に参加	29						61～80
													29	設備導入	燃料の選択	燃料選択は未実施	29	エネルギー起源以外の削減取組	使用済封筒・裏紙の積極的な活用など、資源の再活用により廃棄量の削減を図ること。	資源の再利用等により廃棄物量削減							
													29	運用対策	エネルギーデータ管理	各場所毎の電気使用量を記録し、エネルギー消費動向を把握											
													29	運用対策	変換合理化_ア電動力応用・電気加熱等	不要動力の停止を実施											
ニットク株式会社	31		28	14,294	31	14,151	99.0%	13,706	95.9%	★	97.6%	95.0%	30-31	設備導入	照明設備	工場内照明を順次LEDランプへ交換実施											41～60
													29	設備導入	熱利用設備	3号抄紙機ヤンキードライヤーを熱伝導効率の高いものへ交換											
													30	設備導入	電気使用設備	原紙加工課コンプレッサーを省エネタイプに更新											
													31	設備導入	電気使用設備	1号抄紙機ヤンキードライヤーを熱伝導効率の高いものへ交換											
日本ハムファクトリー株式会社　静岡工場	31		28	9,285	31	9,425	101.5%	8,888	95.7%	★	98.0%	91.3%	29-31	運用対策	エネルギーデータ管理	中央監視活用により保守・点検時間を明確化し整備を確実に行った。 現場の主要加工機械に関しては、時間基準で備品交換等メンテナンスを行っている。	29	エネルギー起源以外の削減取組	業務工程での工夫により、廃棄物の適切な分類を図ること。	廃棄物削減はISO14001の活動にて対前3.5%減を目標に取組みを行った。	31	緑の募金	2019年度緑の募金への寄付(10,000円)を行った。				81～100
													29-31	運用対策	運転管理	中央監視活用による運転状況の把握及び稼働台数の調整を行った。 エアーコンプレッサーに関しては稼動停止工場より小型の物を移設し、負荷状況を確認しながら小型な物で済む時は小型な物で賄う様工夫した。	29-31	エネルギー起源以外の削減取組	業務用冷凍空調機器の定期的な点検等、適切に冷媒漏えい防止措置を図ること。	フロンリークチェックを1回/月実施及び日々フロン量の点検実施する事で異常の早期発見及び対応が出来た。 老朽化設備更新が計画通り実施出来た。							
													29-31	運用対策	保守及び点検	1回/月ボイラーのハーフーの清掃を実施出来た。空調フィルターの目詰まりは日々の点検にてマノメーターの値を確認する事で監視出来ている。また夏季対策として、冷凍機凝縮器の熱交換部の清掃を行った。	29-31	エネルギー起源以外の削減取組	低GWPの業務用冷凍空調機器を使用すること。	自然冷媒・アンモニア冷媒の検討。							
													29-31	運用対策	燃焼合理化	2回/年のばい煙測定時の空気比データーを元に基準から逸脱している機器は調整を行えた。	29	排出低減技術等の開発・普及	省エネルギーに繋がる環境マネジメントシステム等を普及すること。	2015版への切替は2018年度実施済。ISO14001の活動にて対前CO2排出2.5%減を目標に活動している。							
													29-31	設備導入	照明設備	会社として照明をLED化するという方針の元、工場内照明を全てLED化する計画中7割程完結。											

													29-30	運用対策	変換合理化,ア電動力応用・電気加熱等	空調などは夜間・休日の汚染負荷が少ない時間帯は中央監視にて周波数変更を行った。												
													29-30	運用対策	変換合理化,ア電動力応用・電気加熱等	空調などは夜間・休日の汚染負荷が少ない時間帯は中央監視にて周波数変更を行った。												
													29-30	設備導入	空気調和設備	事務棟空調にエコアイスを採用している。												
日本アルコール産業株式会社 アルコール事業	31		28	9,366	31	9,085	97.0%	7,270	77.6%	★	97.0%	96.2%	29-31	設備導入	照明設備	建屋の照明をLED照明にした。												21～40
													29-31	運用対策	変換合理化,ア電動力応用・電気加熱等	実施できなかった。												
													29-31	運用対策	伝熱合理化,ア加熱設備等	放散熱低減のため、保温対策を実施した。 運転条件を見直すことで低エネルギーでの運転が実施できた。												
日本エア・リキード会社合同 静岡工場	31		28	12,541	31	11,920	95.0%	12,495	99.6%	★	95.0%	94.0%	31	設備導入	電気使用設備	電動機の容量が大き過ぎる物の把握まで に留まっている。												21～40
													30	運用対策	変換合理化,イ照明・事務機器	工作室の4器具とLFU塔の1器具の照明に不具合が生じた為、LED器具に更新した。												
日本エスエルシー株式会社 引佐支所	31	★	28	3,882	31	4	0.1%	3,547	91.4%				29-31	運用対策	推進体制の整備	省エネ推進のため、省エネルギ委員会を設置し定期的な報告と改善等について会議を実施した。	29-31	地域や社員の家庭への普及啓発	温暖化防止に関する社員教育の中で、社員の家庭での省エネルギーとなる行動を呼びかけ、行動につなげること。	社内での省エネ活動は実施できたが、家庭で省エネに関して啓蒙活動が出来なかった。								81～100
													29-31	運用対策	エネルギーデータ管理	総合的、主要系統別に休日を除く毎日データを収集および記録して月単位で集計した。朝礼時に従業員にも現状を報告するともに啓蒙活動を行った。	29-31	エネルギー起源以外の削減取組	使用済封筒・裏紙の積極的な活用など、資源の再活用により廃棄量の削減を図ること。	支障のない印刷物は裏紙を保管し再利用した。資源となる物は分別して廃棄した。								
													29-31	運用対策	エネルギーデータ管理	主要設備については運転状況の記録と運転時間やエネルギー使用量を記録および検討し、機器毎の運転方法を検討し実施した。	29-31	エネルギー起源以外の削減取組	使用済封筒・裏紙の積極的な活用など、資源の再活用により廃棄量の削減を図ること。	支障のない印刷物は裏紙を保管し再利用した。資源となる物は分別して廃棄した。								
													29-31	運用対策	運転管理	天気予報等から外気温度および湿度を考慮しながら最低限の機器を運転するようにした。												
													29-31	運用対策	保守及び点検	主要機器は業者に定期的なメンテナンスを委託し、自社整備が可能な機器については自社にて清掃等のメンテナンスを実施した。												
													29-31	運用対策	燃焼合理化	業者に委託した。												
													29-31	運用対策	燃焼合理化	業者に委託した。												
日本クッカリー株式会社 島田工場	31	★	28	3,659	31	3,550	97.0%	3,932	107.4%				29	設備導入	照明設備	HF蛍光灯を一部LED照明に換装												0～20
													29	設備導入	空気調和設備	空調設備の設定温度の見直し												
													30	設備導入	熱利用設備													
													30	設備導入	照明設備													
													31	設備導入	電気使用設備	バッカン洗浄機の入替え												
日本クレア株式会社 富士生育場	31	★	28	2,948	31	2,860	97.0%	2,914	98.8%				29-31	運用対策	エネルギーデータ管理	月単位のエネルギー使用量を過去の実績と比較したグラフを事務所に掲示した。												0～20
													29-31	設備導入	空気調和設備	機械室ポンプ類のインバーター制御を導入												
日本クレア株式会社 富士宮技術サービスセン	31	★	28	3,049	31	2,958	97.0%	2,550	83.6%				29-31	運用対策	推進体制の整備	実施無し												41～60
													29	設備導入	空気調和設備	ブレーカーに電磁波減衰プレートを設置												
													29-31	設備導入	照明設備	一部照明のLED化を実施												
日本ケイカル株式会社	31		28	12,289	31	12,531	102.0%	11,976	97.5%	★	98.6%	91.9%	29	運用対策	運転管理	概ねの設備稼働調整は出来た。原料工程での調整が計画通り出来なかった。	29	地域や社員の家庭への普及啓発	温暖化防止に関する社員教育の中で、社員の家庭での省エネルギーとなる行動を呼びかけ、行動につなげること。	2月の会社全体朝礼にて省エネテーマにて講義し会社及び家庭内の省エネとなる行動を呼びかけた。								61～80
													29	設備導入	熱利用設備	むき出しになっていたコントロールバルブなどを取外し可能な保温材で保温した。												
													29-31	設備導入	電気使用設備	成型機の油圧ユニットを1台エネルギー効率の高いものに更新した。												
													30-31	設備導入	照明設備	工場内の全照明をLED照明に変更した。												
日本軽金属株式会社 蒲原製造所	31		28	34,434	31	33,411	97.0%	30,386	88.2%	★	97.0%	98.4%	29-31	運用対策	推進体制の整備	環境マネジメントシステムを運用し、地球環境の保護などの社内教育を実施した。	29-31	二酸化炭素の吸収源対策	吸収源対策を目的とし、事業者が自ら森林を保有・管理すること。	緑地の維持及び保全活動を実施した。	29-31	環境マネジメントシステム（エコアクション21、ISO14001等）の普及啓発	ISO14001の規格改訂に際し適切な助言を行った				41～60
													29-31	運用対策	変換合理化,イ照明・事務機器	照明機器は適時に更新している。	29-31	地域や社員の家庭への普及啓発	地域での清掃活動を実施すること。	製造所周辺の清掃活動を実施した。1年に2回実施し、会計465名が参加した。								
													29-31	設備導入	空気調和設備	エアコンなどは適時に更新している。	29-31	エネルギー起源以外の削減取組	その他	自社廃油焼却炉が正常運転できるよう維持・管理している。								
													29-31	設備導入	燃焼設備	二酸化炭素排出量の小さい都市ガス炉のF-27を建設した際、リジェネバーナーを導入した。	29-31	排出低減技術等の開発・普及	温室効果ガスの排出を低減する技術・製品の普及を行うこと。	アルミの持つ環境性能を活かした製品開発、製造を行っている。								
													29-31	設備導入	電気使用設備	ポンプなどは適時に更新している。												
													29-31	設備導入	電気使用設備	コンプレッサーの最適な条件の検討をした。												
													29-31	設備導入	電気使用設備	コンプレッサーの最適な条件を把握するため、流量計を追加設置した。												
													29-31	設備導入	燃料の選択	二酸化炭素排出量の大きい重油炉のF-17、F-27（旧）を廃止し、二酸化炭素排出量の小さい都市ガス炉のF-27（新）を建設した。												
日本軽金属株式会社 清水工場	31		28	115,682	31	122,531	105.9%	90,224	78.0%	★	93.8%	74.4%	29-31	運用対策	推進体制の整備	環境管理委員会にて行政や全社ﾚﾍﾞﾙの削減目標等を周知させた。												61～80
													29-31	運用対策	運転管理	ｺｼﾞｪﾈ新設に伴い既存蒸気ﾎﾞｲﾗ2基（1基廃止）+ｺｼﾞｪﾈ廃熱ﾎﾞｲﾗ1基の3基体制になった。このため従来の既設ﾎﾞｲﾗ2基のうち燃料効率の高いﾎﾞｲﾗを運用することができなくなったが、廃熱ﾎﾞｲﾗによる発生蒸気を100%利用する形で運用している。												
													29-31	運用対策	燃焼合理化	空気比（O2）管理を実施した。												
													29-31	運用対策	排熱の回収利用	各所の温排水の廃熱回収して再利用に努めた。												
													29-31	運用対策	変換合理化,ア電動力応用・電気加熱等	不要機器の停止に努めた。												
													29-31	設備導入	熱利用設備	高温配管等の保温を実施した。												
													30-31	設備導入	コージェネレーション設備	H31.1（2019.1）よりｺｼﾞｪﾈ稼働開始。												
													29-31	設備導入	照明設備	LED化を実施した。												
日本彩染株式会社	31		28	3,706	31	3,595	97.0%	3,131	84.5%	★	97.0%	84.5%	29-31	設備導入	電気使用設備	ダストル装置ファンのインバーター制御化（60Hz→42Hz）												41～60
													29-31	運用対策	排熱の回収利用	蒸気配管のドレントラップの点検												
													29-31	運用対策	変換合理化,ア電動力応用・電気加熱等	長時間機械停止時には電源をOFF												
													29-31	設備導入	照明設備	蛍光灯、水銀灯の更新時はLED照明に切り替え												
日本食品化工株式会社 富士工場	31		28	167,531	31	158,663	94.7%	154,681	92.3%	★	100.0%	102.2%	29-31	運用対策	エネルギーデータ管理	省エネ推進委員会の開催、並びに毎月の定例会議でエネルギー消費動向を確認した。					29-31	緑の募金	計画通り実施					
													29-31	運用対策	保守及び点検	ボイラ清掃、1回/年。 照明設備に置いてはLEDへの更新を進めた。												

														29-31	運用対策	燃焼合理化	空気比調整を実施すると共に毎月の値を確認。												
														29-31	運用対策	伝熱合理化、イ空調・給湯	冷暖房温度は、管理者を選任して管理を行った。												
														29-31	運用対策	熱の動力等変換合理化	ゴールデンウィーク等、エネルギー負荷が低い時に一部のエネルギー供給設備を停止する操作を行った。												
														29-31	運用対策	変換合理化、イ照明・事務機器	昼休みの消灯、早帰りデー(週一回)を実施。												
														29-31	投備導入	電気使用設備	昨年度は回転制御装置の設置を実施しなかった。												
														29-31	投備導入	照明設備	LED照明への更新を継続実施。												
日本製紙株式会社 富士工場鈴川	31	★	28	3,626	31	3,518	97.0%	2,974	82.0%					29-31	運用対策	変換合理化、イ照明・事務機器	・事務用機器は、不要時において適宜電源を切る ・低電力モードの設定を実施	29-31	地域や社員の家庭への普及啓発	事業所の見学会等を通じ、地域の環境意識向上を図ること。	2019.6.20実施 町内会長他11名参加								41～60
日本製紙株式会社 富士工場富士	31	★	28	51,051	31	49,519	97.0%	22,692	44.4%					29-31	運用対策	変換合理化、ア電動力応用・電気加熱等	・工業用水ラインの有効活用や電源集約、PSA停止による省エネ。	29-31	二酸化炭素の吸収源対策	山林での植林活動等を行い、吸収源対策を行うこと。	2019.4.29 従業員家族含め18名参加	29-31	森林認証制度	森林認証制度継続中。					41～60
														29-31	運用対策	変換合理化、イ照明・事務機器	H29年度実施完了	29-31	地域や社員の家庭への普及啓発	事業所の見学会等を通じ、地域の環境意識向上を図ること。	2019.6.13実施 町内会長他18名参加	29-31	静岡県リサイクル認定製品	再生古紙使用PPC用紙において静岡県リサイクル認定取得					
														29-31	運用対策	熱の動力等変換合理化	H30年度実施完了	29-31	地域や社員の家庭への普及啓発	地域での清掃活動を実施すること。	①工場周辺道路の一斉清掃(2019.6.19　32名参加) ②田子の浦港の一斉清掃(2019.6.4　16名参加) ③沼川ふれあい川づくり整備作業(2019.6.19　16名参加0)									
														29-31	投備導入	照明設備	H29年度実施完了												
日本製紙株式会社　富士工場吉永	31	★	28	311,855	31	302,499	97.0%	302,692	97.1%					29-31	運用対策	排熱の回収利用	・抄紙機ドレネージ改造による蒸気削減 ・抄紙機ドライヤー給気温度変更による蒸気削減 ・抄紙機濾水系統力制変更による蒸気削減 など	29-31	二酸化炭素の吸収源対策	山林での植林活動等を行い、吸収源対策を行うこと。	2019.4.29 従業員家族含め18名参加	29-31	静岡県リサイクル認定製品	継続してマッドキラー製造協力の実施					21～40
														29-31	運用対策	変換合理化、ア電動力応用・電気加熱等	・抄紙機サクションウォーターポンプ適正化 ・パルプ系白水ポンプ統合による余剰ポンプ停止 ・井戸ポンプ停止による省電力 など	29-31	地域や社員の家庭への普及啓発	事業所の見学会等を通じ、地域の環境意識向上を図ること。	2019.6.21実施 町内会長他23名参加	29-31	森林認証制度	PEFC H21.7.6～ FSC　H29.1.16～ 認証制度継続中					
														29-31	投備導入	照明設備	・照明更新による高効率化(プラント、倉庫、事務所)など	29-31	地域や社員の家庭への普及啓発	地域での清掃活動を実施すること。	6月・9月・12月・3月に実施								
日本製紙クレシア株式会社　興陽工場	31	★	28	50,692	31	49,171	97.0%	48,931	96.5%					29	運用対策	運転管理	レシーバータンク増設によるコンプレッサー電力量削減	29	二酸化炭素の吸収源対策	事業所周辺において植樹等緑化活動を行い、環境保全を図ること。	グリーンカーテン設置								61～80
														29	運用対策	運転管理	FFクリーナー設備設置する事で高圧ファンシャワー停止による電力削減	29	二酸化炭素の吸収源対策	山林での植林活動等を行い、吸収源対策を行うこと。	2019年4月29日　富士山麓ブナ林創造事業参加								
														29	運用対策	運転管理	バージンDDR一トップファイナーに変更運転による電力削減	30	二酸化炭素の吸収源対策	事業所周辺において植樹等緑化活動を行い、環境保全を図ること。	グリーンカーテン設置								
														29	投備導入	熱利用設備	小型貫流ボイラエコノマイザー更新によるガス使用量削減(第二期)	30	二酸化炭素の吸収源対策	山林での植林活動等を行い、吸収源対策を行うこと。	2019年4月29日　富士山麓ブナ林創造事業参加								
														31	運用対策	運転管理	4直化による蒸気使用量削減	31	二酸化炭素の吸収源対策	事業所周辺において植樹等緑化活動を行い、環境保全を図ること。	グリーンカーテン設置								
														30	運用対策	運転管理	粗選シリンダープレス搾水回収による蒸気削減												
														30	運用対策	運転管理	サクションボックス真空低減による電力削減												
														31	運用対策	運転管理	芯層　3次スクリーンバイパスによる停止												
														31	運用対策	運転管理	2M／CFレネージ最適化　第一ステップ												
														31	運用対策	運転管理	連続ブロー水回収排熱利用によるガス使用量削減												
日本製紙パピリア株式会社　原田工場	31		28	55,673	31	54,000	97.0%	37,572	67.5%	★	97.0%	73.9%		29	投備導入	電気使用設備	エアコン更新(4台) 原動機インバータ化(3台)	29-31	二酸化炭素の吸収源対策	山林での植林活動等を行い、吸収源対策を行うこと。	4月29日に富士市ブナ林植林事業に参加	29-31	森林認証制度	2月20日森林認証継続審査受審					61～80
														30	投備導入	電気使用設備	ﾎﾞｲﾗｰのﾌｧﾝの適正化を計画したが実施しなかった	29-31	地域や社員の家庭への普及啓発	事業所の見学会等を通じ、地域の環境意識向上を図ること。	11月25日近隣住民対象に工場の環境ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽの説明会を開催した。 11月26日近隣小学校3年生工場見学実施。								
														31	投備導入	燃料の選択	C重油ﾎﾞｲﾗｰ(51t/h)を廃止し、都市ｶﾞｽ貫流ﾎﾞｲﾗｰ(3t/h×12台)に更新した	29-31	地域や社員の家庭への普及啓発	地域での清掃活動を実施すること。	6月4日田子の浦一斉清掃に参加。								
														29	投備導入	照明設備	13件のLED化工事を行った。	29-31	地域や社員の家庭への普及啓発	社員の家族を対象とした環境に関するイベントを開催すること。	平成31年度環境月間取組に参加。ライトダウンキャンペーンの実施、eーラーニング、エコフォト、清掃、場内タンク周辺点検などを行った。								
														29-31	運用対策	エネルギーデータ管理	蒸気及び電力量を部署別に把握し、エネルギーの原単位の推移把握を図った。削減まではつなげられなかった。												
日本製紙パピリア株式会社　原田工場依田橋	31		28	4,726	31	4,584	97.0%	4,931	104.3%	★	97.0%	87.1%		29	投備導入	電気使用設備	エアコン更新(0件)	29-31	二酸化炭素の吸収源対策	山林での植林活動等を行い、吸収源対策を行うこと。	富士市ブナ林植林事業に参加した(4/29)	29-31	森林認証制度	森林認証維持審査受審(2/20)継続					61～80
														29	投備導入	照明設備	9件のLED化工事を行った。	29-31	地域や社員の家庭への普及啓発	事業所の見学会等を通じ、地域の環境意識向上を図ること。	近隣住民に対して工場の環境パフォーマンスの説明会を開催(11/25) 小学3年生の工場見学(11/26)								
														29	投備導入	排熱回収設備	蒸気配管及びバルブ等保温がとれている部分の保温を実施し、放熱削減による燃料削減を図った。	29-31	地域や社員の家庭への普及啓発	地域での清掃活動を実施すること。	地域清掃活動へ参加した								
														29-31	運用対策	エネルギーデータ管理	蒸気及び電力量を部署別に把握し、エネルギーの原単位の推移把握を図った。	29-31	地域や社員の家庭への普及啓発	社員の家族を対象とした環境に関するイベントを開催すること。	平成29年度環境月間取組に参加。ライトダウンキャンペーンの実施、eーラーニング、エコフォト、清掃、場内タンク周辺点検などを行った。								
日本たばこ産業株式会社　東海工場	31	★	28	12,951	31	16,300	125.9%	14,231	109.9%					29-31	運用対策	エネルギーデータ管理	省エネグループ検討会、地球環境委員会を組織し、毎月のエネルギー実績を分析することでエネルギー消費動向を把握した。	29-31	二酸化炭素の吸収源対策	事業所周辺において植樹等緑化活動を行い、環境保全を図ること。	磐田市環境保全推進協議会主催の間伐作業へ継続して参画。	29-31	環境マネジメントシステム(エコアクション21、ISO14001等)の普及啓発	環境マネジメントシステム(ISO14001)の運用継続。(2015年版への移行審査は平成30年度済)					41～60
														29-31	運用対策	エネルギーデータ管理	設備保守手入れを年間でスケジューリングしているほか、エネルギー等(水、廃棄物含む)実績を毎月の目標と比較分析することで設備や機器の異常・劣化の早期発見に繋げた。	29-31	地域や社員の家庭への普及啓発	地域での清掃活動を実施すること。	工場南側用水路の清掃、「ひろえば街が好きになる運動」を計画通り実施。								
														29-31	運用対策	運転管理	空調機や空気圧縮機における負荷変動に対応したインバータによる調整運転、冷凍機・空気圧縮機の台数制御を実施。また、生産状況に応じた付帯設備の美修を実施。	29-31	地域や社員の家庭への普及啓発	温暖化防止に関する社員教育の中で、社員の家庭での省エネルギーとなる行動を呼びかけ、行動につなげること。	クールビズ・ウォームビズの周知、生産状況に応じた空調省エネ運転、環境月間を利用した啓蒙活動を実施。								
														29-31	運用対策	保守及び点検	設備保守手入れの年間スケジュールを立て計画的にメンテナンスを実施した。突発でメンテナンスが必要になった際は都度対応した。												
														29-31	運用対策	伝熱合理化、イ空調・給湯	事務所・居室の空調機について、政府推奨の設定温度を勘案し設定値を設け、設定値の変更制限をかけた。												
														29-31	運用対策	抵抗等電気損失防止	吸収式冷凍機を活用したピークカットを実施。												
														29-31	運用対策	変換合理化、イ照明・事務機器	OA機器の低電力モード設定、通路照明に人感センサーを使用し不要時における消灯を実施。												
														29	投備導入	電気使用設備	-												
														29	投備導入	照明設備	-												
日本特殊塗料株式会社　静岡工場	31		28	3,229	31	3,130	96.9%	3,790	117.4%	★	86.8%	126.3%		29-31	運用対策	エネルギーデータ管理	デマンドコントロールで月・週・曜日・時間単位でのデータ取りし最大値平均値を半期単位でグラフ化。	29-31	地域や社員の家庭への普及啓発	地域での清掃活動を実施すること。	清掃活動への参加なし。								21～40
														29-31	運用対策	運転管理	設備毎に掛かる電力量より日々の使用量を予測した算出表を用いて管理を行った。	29-31	エネルギー起源以外の削減取組	業務工程での工夫により、廃棄物の適切な分類を図ること。	廃棄と再生の分別作業を実施継続。								
														29-31	運用対策	伝熱合理化、イ空調・給湯	暖房温度は政府の推奨する設定温度で実施。	29-31	エネルギー起源以外の削減取組	その他	未実施。								
														29-31	投備導入	電気使用設備	庫内照明は昼夜消灯を実施。	29-31	エネルギー起源以外の削減取組	業務用冷凍空調機器の定期的な点検等、適切に冷媒漏えい防止措置を図ること。	7.5Kw以上50Kw未満の冷凍冷蔵機器については昨年業者が点検済み。業務用冷凍空調機器については3ヶ月毎に簡易点検実施済み。								
														29-31	投備導入	照明設備	製造1課建屋天井水銀灯及び、ブレス横蛍光灯5台をLED照明にし、製造2課については水銀灯24基、蛍光灯4台をLEDにした。												
日本プラスト株式会社　富士工場　1地区	31	★	28	2,933	31	2,730	93.1%	2,136	72.8%					29	投備導入	空気調和設備	事務所及び作業エリアにおいて、空調機の更新を計画。また、空調機選定において、高効率機器の選定を実施。												41～60
														29	投備導入	照明設備	工場内作業エリアにおいて、蛍光ランプからLED照明に変更を計画。												
日本プラスト株式会社　富士工場　2地区	31	★	28	1,000	31	781	78.1%	738	73.8%					29	投備導入	空気調和設備	-												21～40
														29	投備導入	照明設備	-												

日本ペットフード株式会社　静岡工場	31		28	4,472	31	4,922	110.1%	4,780	106.9%	★	100.4%	90.3%	29-31	運用対策	推進体制の整備	省エネ委員会にて管理標準の整備、省エネ対策の計画と実施状況の報告の体制整備を行う。	29-31	エネルギー起源以外の削減取組	必要資源の調整・ペーパーレス化等により、廃棄量の削減を図ること。	パソコンで作成した書類を書面化せずデーターによる送信若しくはメール送付にて								81～100
													29-31	運用対策	燃焼合理化	業者による空気比の調整を行った。	29-31	エネルギー起源以外の削減取組	その他	工程内発生原料廃棄物を肥料用として引き渡しをした。								
													29-31	設備導入	電気使用設備	更新時に高効率モーターを選定する。													
													29-31	設備導入	照明設備	照明器具更新時にをLEDを選定する。													
													29-31	運用対策	エネルギーデータ管理	年・月・日単位でエネルギー使用量管理を実施し、年・月でグラフにしてエネルギーの消費動向が把握をする。													
													29-31	運用対策	変換合理化_ア電動力応用・電気加熱等	コンプレッサーの台数制御及び管理圧力を0.5Mpaしてコンプレッサーの負荷軽減をする。													
													29-31	運用対策	変換合理化_イ照明・事務機器	稼働終了及び工場操業終了時に照明の消灯をする。													
													29-31	運用対策	エネルギーデータ管理	製造に関わる大型の機器の保守時期を決める。													
日本マイクロバイオファーマ株式会社　磐田工場	31		28	4,894	31	4,187	85.6%	5,347	109.3%	★	97.0%	108.2%	29-31	設備導入	空気調和設備	空気調和設42機更新													21～40
													29-31	設備導入	照明設備	HF蛍光灯、外灯の一部にLED照明の設備を採用した。													
													30	設備導入	熱利用設備	冷凍機更新													
													29-31	運用対策	運転管理	稼働台数の調整													
													29-31	運用対策	変換合理化_ア電動力応用・電気加熱等	一部照明設備、空調設備の減灯、低減を行った。													
日本モレックス合同会社　静岡工場	31		28	10,167	31	10,460	102.9%	11,464	112.8%	★	97.0%	66.7%	29-30	設備導入	熱利用設備	プレス配管の断熱化を一部設備において実施（プレス機：9/46台）													41～60
													29-30	設備導入	電気使用設備	平成30年度においてポンプのインバーター化の効果検証をすることが出来なかった。													
													29-30	設備導入	照明設備	非常照明324本についてLED照明に交換を実施。（前年度プレス及びO/MO7ZZ本実施済み）計画予定設備全て完了													
													29-31	設備導入	電気使用設備	平成29年度は断熱効果について費用対効果を試作検証。													
													29-31	運用対策	伝熱合理化_イ空調・給湯	エアコン室外機の熱交換フィンの高圧洗浄を実施（101台中21台実施：前年度40台実施済み）、計画予定設備を全て完了。以降、毎年洗浄を実施予定。													
													30-31	運用対策	変換合理化_ア電動力応用・電気加熱等	設置工事に係る工事仕様検討及び見積取得（費用対効果検証）													
													30-31	運用対策	変換合理化_ア電動力応用・電気加熱等	設置工事に係る工事仕様検討及び見積取得（費用対効果検証）													
日本理化製紙株式会社　本社・草薙工場	31		28	2,503	31	2,428	97.0%	2,544	101.6%	★	97.0%	83.3%	29	運用対策	伝熱合理化_アカ熱設備等	7MCおよび8MCの休日（土・日）空調機の停止を実施した（31年度）。 5MCの生産性向上（ｽﾋﾟｰﾄﾞｱｯﾌﾟ）の実施（31年度）。	29	エネルギー起源以外の削減取組	業務工程での工夫により、廃棄物の適切な分類を図ること。	計画通り実施中。	29-31	環境マネジメントシステム（エコアクション21、ISO14001等）の普及啓発	更新審査実施し、適合判定				61～80
													29-31	設備導入	電気使用設備	蒸気暖房を中止する為、第一仕上棟にｴｱｺﾝ（屋外機4基）を設置した（31年度）。													
													29	設備導入	電気使用設備	高圧受電設備の老朽化対策として、ｷｭｰﾋﾞｸﾙ化工事を実施（30年度）。31年度は、計画予定無であった。													
													29	設備導入	排熱回収設備	5MCｰﾎﾞｲﾗｰﾄﾞﾚﾝ回収ﾀﾝｸ間の配管保温実施（31年度）。													
													29	設備導入	照明設備	第一仕上棟及び7MCの蛍光灯約112（75+37）基をLEDﾀｲﾌﾟに変更（31年度）。													
													29	設備導入	電気使用設備	5MC屋根ﾌｧﾝ（7基）のｲﾝﾊﾞｰﾀ化による回転制御実施（31年度）。品質改善（除圧緩和）。													
沼津市立病院	31	★	28	5,672	31	5,592	98.6%	5,466	96.4%				29-31	設備導入	照明設備	1階の放射線科、内視鏡、薬剤部、2階の医局、中央倉庫、院長室、会議室、外来化学療法室において、LED照明へ改修													21～40
沼津熔銅株式会社	31		28	11,122	31	11,000	98.9%	11,897	107.0%	★	98.7%	98.6%	29	設備導入	電気使用設備	受電用変圧器の更新													21～40
													29	設備導入	電気使用設備	荒引銅線製造設備の屋外クーリングタワーファンをインバータ制御化（31年度追加実施）													
													29-30	設備導入	照明設備	工場屋内外水銀灯 天井クレーン照明 LED化													
													29-31	運用対策	エネルギーデータ管理	省エネ会議議題「非稼働時工業用水の無駄な送水停止」によるポンプ動力削減													
ネオファーマジャパン株式会社　袋井工場	31	★	28	9,407	31	9,125	97.0%	8,178	86.9%				29-30	設備導入	照明設備	照明器具をLEDに交換した。	29-30	エネルギー起源以外の削減取組	業務工程での工夫により、廃棄物の適切な分類を図ること。	廃棄物発生の削減に努め、汚泥は全量の肥料化を目指した。									41～60
													31	設備導入	燃焼設備	ボイラー更新を計画した。	29-30	エネルギー起源以外の削減取組	業務用冷凍空調機器の定期的な点検等、適切に冷媒漏えい防止措置を図ること。	倉庫の空調設備を更新し、従来品と比べ省エネ機器を導入した。								
													29-30	運用対策	運転管理	負荷の状態に応じて稼動の調整を試みている。省エネ診断を受診し、コスト面も考慮しながら、効率化を検討している。													
ネスレ日本株式会社　島田工場	31		28	38,080	31	36,950	97.0%	30,801	80.9%	★	97.0%	69.3%	29	設備導入	熱利用設備	製造設備の熱利用設備を更新実施	29	エネルギー起源以外の削減取組	その他	ボイラー清缶剤の受入れタンク設備を新規設置して、薬品荷姿変更による産廃量を削減の結果、サーマルリサイクル量を削減した	29-31	環境マネジメントシステム（エコアクション21、ISO14001等）の普及啓発	環境マネジメントシステムの運用実施					81～100
													29	運用対策	熱の動力等変換合理化	製造設備の稼動状況に合わせて、コージェネレーションの運用を最適化	29-31	エネルギー起源以外の削減取組	業務用冷凍空調機器の定期的な点検等、適切に冷媒漏えい防止措置を図ること。	3回/年の点検と修理を実施								
													29-31	運用対策	排熱の回収利用	スチームトラップの管理を、専門業者による診断と不具合箇所全ての交換修理の実施と継続	29-31	排出低減技術等の開発・普及	省エネルギーに繋がる環境マネジメントシステム等を普及すること。	全部署で省エネルギー対策に取組み実施								
													29	運用対策	排熱の回収利用	廃熱ボイラーの連続ブロー熱回収の実施 ボイラー室スチームコンデンセートタンクのっフラッシュ蒸気の回収実施													
													29	設備導入	電気使用設備	エアーコンプレッサーの更新実施													
													29	運用対策	燃焼合理化	脱水コーヒー粕の水分管理による、サーマルリサイクルボイラーの効率向上実施													
													29	運用対策	燃焼合理化	環境推進委員会による省エネパトロールと修理実施													
													29-31	運用対策	保守及び点検	水処理メーカーによる、ボイラー水管理の実施とボイラー性能検査時の効果の確認の実施と継続													
株式会社ノダ　清水事業所	31		28	28,778	31	28,778	100.0%	24,937	86.7%	★	97.0%	94.8%	29-31	設備導入	照明設備	水銀灯ランプ器具　　蛍光灯器具を順次　　LED照明に入替実施													21～40
													29-31	設備導入	電気使用設備	設備導入時の負荷に応じた速度調整するよう設計した。													
													29-31	運用対策	運転管理	コンプレッサーの　　台数制御にインバータのコンプレッサーを導入し更なる向上を図った。													
													29-31	運用対策	保守及び点検	点検日に汚れの多い　蛍光灯器具の清掃実施　　工場稼働率の向上の為　月例点検の計画的実施を行った。													
株式会社ノダ　富士川事業所	31		28	9,904	31	10,000	101.0%	9,524	96.2%	★	94.8%	92.9%	29-31	運用対策	変換合理化_ア電動力応用・電気加熱等	毎月朝礼で、各設備の空転防止の呼び掛けを行った。	29	二酸化炭素の吸収源対策	吸収源対策を目的とし、事業者が自ら森林を保有・管理すること。	㈱ノダ所有の富士宮市朝霧高原の森に、11月に社員とその家族50人で植樹活動（1000本）を行った。								61～80
													29-31	設備導入	照明設備	80WLED照明8台導入（400W水銀灯取替）、 36WLED照明8台導入（80W蛍光灯取替）	29	二酸化炭素の吸収源対策	吸収源対策を目的とし、事業者が自ら森林を保有・管理すること。	㈱ノダ所有の掛川市黒保山の森に、2月に植樹活動（2200本）を行った。								
													29-30	設備導入	電気使用設備	集塵ファンの風量調整をダンパー方式から、インバーター方式に変更し、ファンモーター回転数を8%下げた。	30	二酸化炭素の吸収源対策	吸収源対策を目的とし、事業者が自ら森林を保有・管理すること。	㈱ノダ所有の富士宮市朝霧高原の森において、5月に社員が植林活動（170本）を行う。								
													30-31	設備導入	熱利用設備	木質バイオマスボイラーの更新													
													31	設備導入	電気使用設備	小型のコンプレッサーを設置し、休日は小型のものだけ運転した。													